

平日辛台駁

題字: 鍾家新

永井貫之

昼は研究者、夜は良き父、良き夫…… そんな政経某教授のつれづれブログ

「おとこもすなる日記というものをおんなもしてみむとてするなり」(土佐日記)。現代であれば、「学生もすなるブログというものをおじさんもしてみむとてするなり」。「歩き方」恒例(?)、政経おやじ教員のブログ風日記2009の公開なのだ。

09.4.17(金)

4時半前に起きる。メールチェック、雑用処理。きょうのゼミテキスト読み、大学院テキストの予習。朝食など。次女が食べるのが遅いので、1本遅い電車。夜に雨が降るといふ予報なので、自転車はやめて歩いて出る。1本遅いだけで電車はすいて座れる。笹塚からの電車も同様。火曜日以外はこの電車に間に合うのだから、これでいこう。大学院ゼミ。昼食のあと、また研究室のソファでうとうとしてしまう。学部ゼミ、5限は図書館ゼミツアー。6時から会議。30分で終了。食事が出ると思っていたら、サンドウィッチのお土産だった。神保町から帰りの車内で、岡村正史「力道山」(ミネルヴァ書房、2008年)を耽読する。「人生は体当たり、ぶつかるだけだ」といった力道山。ただただカッコいい。帰宅して入浴。サンドウィッチをビールで流し込んで、9時半に寝る。

09.5.27(水)

4時過ぎに起きる。メールチェック、雑用処理。来週のゼミ外書の予習。×△論の準備。朝食、妻と子どもたちの送り出し。×△論の準備の続き。昨年度と一部さしかえするが、うまくまとまらない。昼食後、ふと映像で示そうと思いつき、大島渚『日本の夜と霧』(1960年)をビデオで確認。いまはなき銀座並木座で旧友とみて以来。該当箇所はすぐにあったが、思っていたのとちょっと違って。結局ずるずる最後までみてしまう。六全協から安保闘争へ。当時の学生たちの生硬な議論に鼻白んでしまうのは、こちらがトシを取ったということか。3時過ぎに長女帰宅。お友だちのうちにいくと飛び出していく。4時過ぎに学童保育から次女も帰宅。6時前に子どもたちはハンドボール教室へ。8時半前に帰ってくる。9時前に夕食。ハンドボールは楽しいという。けっこうなこと。妻と手分けして家事を片づけるが、寝るのが10時半になる。水曜日は仕方がない。

09.7.6(月)

4時すぎに起きる。メールチェック、雑用処理。きょうの政治×学予習。朝食。車内でも予習を続けるつもりが、寝てしまう。明大前駅に着いたら雨。傘を買う。こうしてビニール傘が増えていく。1限の政治×学。村山政権ができたとき、翌朝はスポーツ紙もすべてこれが1面だった。ただし、『△△スポーツ』だけは阪神が巨人に大勝したことを1面にしたんだ。このポリシー、好きだなあ。こんな与太話をしたら、終了後学生から、小泉政権成立翌朝のスポーツ紙も、『スポーツ××』だけは「清原〇〇が治った」を1面にしたと教えてくれた。余談に限って食いついてくる。来年度のネタにしよう。昼休みに和泉に来たゼミの4年生と食事。就職活動に苦労しているよう。まさに「就活のパカヤロー」(石渡嶺司・大沢仁、光文社新書、2008年)だ。会議のため生田校舎へ移動。小田急の中で、島桂次『シマゲジ風雲録』(文藝春秋、1995年)。明大OBの荒船清十郎・衆院予算委員長。テレビ中継が終わったと勘違いし、「今晚、野党の国対の野郎を呼ぶんだからな。ガソリンを用意しとけよ」と大声で与党議員に指示したのがオンエアされてしまった。さすが「大物」と大笑い。

09.9.1(火)

3時前後に目が覚めて眠れない。3時半ごろ起きる。メールチェック、論文の下調べ。5時半ごろ、たまたまた布団にもぐりこむ。子どもたちはよいよ2学期。新型インフルエンザが猛威をふるいそうだが、2学期も無欠席で通ってほしい。11時15分ごろ昼食のやきそばをつくる。11時半すぎに家を出て小学校へ。防災の日の引き取り訓練。台風一過で暑い。12時すぎに子どもたちと帰宅。たまたまず冷房を入れる。昼食、片づけ、子どもたちにつられて昼寝。30分ほどで起きる。論文執筆にかかるが、進まずにイライラする。子どもたちは○△文化センターへ本を借りに行く。執筆はあきらめて、通院している整形外科へ。次は2週間後でいいとのこと。4時半ごろ帰宅。子どもたちはすでに帰宅していた。メール処理。妻が7時半前に帰ってくる。夕食。気分転換に三好円『バクチと自治体』(集英社新書、2009年)を楽しむ。ハイセイコーが競馬のファン層を劇的に変えた。10時前に寝る。



岡村正史
『力道山』



石渡嶺司・大沢仁
『就活のパカヤロー』



島桂次
『シマゲジ風雲録』



三好円
『バクチと自治体』